

11月2日（日）主日礼拝レジュメ

「心を変えてくださる方」 ローマ人への手紙12章2節

「この世と調子を合わせてはいけません。」

この世＝神に逆らう罪の世。私たちは、この世から救い出され、キリストの贖いにより聖霊の支配に移された。世に生きる中で、世と調子を合わせる危険がある。

「むしろ、心を新たにすることで、自分を変えていただきなさい。そうすれば、神のみこころは何か、すなわち、何が良いことで、神に喜ばれ、完全であるのかを見分けるようになります。」

・新共同訳「むしろ、心を新たにして自分を変えていただき、何が神の御心であるのか、何が善いことで、神に喜ばれ、また完全であるかをわきまえるようにしなさい。」

・新改訳第三版「いや、むしろ、神のみこころは何か、すなわち、何が良いことで、神に受け入れられ、完全であるのかをわきまえ知るために、心の一新によって自分を変えなさい。」

問題は、**自分を変えなさい**との意味のギリシャ語のモメタモルフーステ。命令法受動態と取るか命令法中動態と取るか。中動態と取ると、「自分を変えなさい」ということになり、受動態と取ると「自分を変えていただきなさい」となる。新改訳第三版の「自分を変えなさい」との訳であると、そこに自分の努力的な要素がかなり含まれる。しかし、聖霊によって新しくされた私たちが、今度は自分の努力で新しくされていくのか、あなたたちは新しくされたのだから、後は自分たちで変えられるようにしなさいというのが聖書の教えなのだろうか。決してそうではなく、私たちを変えてくださるのはあくまで聖霊のはず。

① ガラテヤ書5章16節「私は言います。御霊によって歩みなさい。そうすれば、肉の欲望を満たすことは決してありません。」

私たちが肉から解放され、神のみこころを行う者へ変えられるのは、御霊によって歩むとき。ですから、御霊に従って歩むときに私たちも変えられていく。それは、御霊なる主の働きによる。

- ② II コリント 3 章 18 節「私たちはみな、覆いを取り除かれた顔に、鏡のように主の栄光を映しつつ、栄光から栄光へと、主と同じかたちに姿を変えられていきます。これはまさに、御霊なる主の働きによるのです。」

それで新改訳 2017 は、「自分を変えていただきなさい。」と訳し変えたのではないか。

「心を新たにすることで」

1 章 18 節以下でパウロは、人は「神を知っていながら、神を神としてあがめず、感謝もせず、かえってその思いはむなしくなり、その鈍い心は暗くなったのです。(21 節)」これが、罪人の心の状態。さらに「自分たちは知者であると主張しながら愚かになり、朽ちない神の栄光を、朽ちる人間や、鳥、獣、這うものに似たかたちと替えてしまいました。そこで神は、彼らをその心の欲望のままに汚れに引き渡されました。(22~24 節)」人は「神を知ることに価値を認めなかったので、神は彼らが無価値な思いに引き渡されました。(28 節)」その結果、さらに人はしてはならないことを行い、ますます罪深い者となったのです。

無価値な思いが聖霊の助けにより新たにされました。神を知ることに何の価値がないと思っていた者が、今度は神を知ることに価値を見出し、むしろ神のみこころをわきまえ知るようになる。

- ③ エレミヤ書 31 章 33, 34 節「これらの日の後に、わたしがイスラエルの家と結ぶ契約はこうである—主のことば—。わたしは、わたしの律法を彼らのただ中に置き、彼らの心にこれを書き記す。わたしは彼らの神となり、彼らはわたしの民となる。彼らはもはや、それぞれ隣人に、あるいはそれぞれ兄弟に、『主を知れ』と言って教えることはない。彼らがみな、身分の低い者から高い者まで、わたしを知るようになるからだ。—主のことば—。わたしが彼らの不義を赦し、もはや彼らの罪を思い起こさないからだ。」の預言の成就。

「神のみこころは何か、すなわち、何が良いことで、神に喜ばれ、完全であるのかを見分けるようになります。」

神のみこころ＝①何が良いことで、②神に喜ばれ、③完全であるのか。

その理由といたしましては、神のみこころというと、何か神秘的なかたちで示されたり、神との神秘的な交わりにより得られるものとの印象を受ける危険があったので、最初に良いものと言い、人間的な道徳観念のようなものの排除のため、「神に喜ばれ」との言葉を入れた。「完全であるのか」＝他者との関りにおける愛の完全さを意識したと考えることができます。

④ 13章9,10節「「姦淫してはならない。殺してはならない。盗んではならない。隣人のものを欲してはならない。」という戒め、またほかのどんな戒めであっても、それらは、「あなたの隣人自分自身のように愛しなさい」ということばに要約されるからです。愛は隣人に対して悪を行いません。それゆえ、愛は律法の要求を満たすものです。」

→ 愛が律法の要求を満たす、完全であることの道。愛を持つことが神のみこころであり、そのようにして良いもの、神に喜ばれること、完全なものを見分けられるようになる。

世と調子を合わせるような生き方は、私たちにはふさわしくない。なぜなら、私たちは主を知ることが最も価値あることであり、神のみこころを見分けて、それに従うことこそが人生の最大の目的とされているから。神のみこころを見分けるために必要なことは祈りとみことば。御霊がそこに働かれて、私たちが神のみこころは何か見分けて、それに従うことにより私たちは、心を新たにされ、自分自身を主に变えていただく。「自分を変えていただきなさい。」は現在を現わす命令形で、継続の意味がある。主のみこころをわきまえ知るような生涯を送っていく中で、私たちが聖霊によって変えられ続けていく。そして、最後には主と同じ姿に変えられる。＝栄化される。そのように変えられることを待ち望んで、歩みたい。